

13:03-13:11 B1: 東大地震研 Olah Laszlo
13:11-13:19 B2: 防災科研 小澤
13:19-13:27 B3: 東大 角野
13:27-13:35 C1: 東大地震研 安田
13:35-13:43 C2: 東大地震研 前野
13:43-13:51 C3: 防災科研 三輪
13:51-13:59 D1: アジア航測 千葉
13:59-14:07 D3: 防災科研 宮城

○一元化データを活用した研究についての提案

14:15-14:25 東大地震研 加藤
14:25-14:35 温地研 行竹
14:35-14:45 防災科研 山田
14:45-14:55 京大 横尾
14:55-15:05 京大 中道
15:05-15:15 京大 為栗
15:15-15:25 産総研 下司
15:25-15:35 防災科研 入山
15:35-15:45 北大 栗谷
15:45-15:55 東北大 小園
15:55-16:05 産総研 及川
16:05-16:15 温地研 萬年

○総合討論（司会 北大 橋本）

16:25-17:00

4. 2 対外的発表

なし

5. むすび

次世代火山研究推進事業における課題 A の目標は、主に 3 つある。1 つ目はデータ共有の仕組み作りであり、これは JVDN システムとして開発し、平成 30 年度末から運用を開始した。今後、実際の活用を通して寄せられるであろう要望や改善点を踏まえながら、さらに開発を継続していく。2 つ目が、JVDN システムをプラットフォームにして、データの活用や連携を促して、次世代火山研究推進事業のアウトプットを出すことであり、3 つ目は、JVDN システムの活用を通して火山研究の発展や防災への貢献につなげることである。このためには、課題 A にとどまらず、次世代火山研究推進事業の各課題、さらには火山コミュニティ全体で、JVDN の活用方策や、より有効活用してもらうための JVDN システムのあり方についての検討が必要であり、今後、次世代火山研究推進事業の各課題や次世代火山研究運営委員会、新たに立ち上げる JVDN の推進委員会等でさらに検討していく。